

設備更改プロジェクト（JP5版） ガイドライン v1.0.0



2025年10月23日
NTTドコモビジネス株式会社

更新履歴

版数	更新日	更新内容
1.0.0	2025年10月23日	初版作成

目次

●はじめに

- 本ガイドラインの位置づけ
- 本ガイドラインの構成
- 本ガイドラインご利用上の注意事項
- 新基盤への移行によるメリット
- 新基盤における仮想サーバーに関する強化ポイントの詳細
- 移行スケジュール
- お問い合わせ方法

●概要

- 移行作業概要
- サービスごとの移行方法について
- パターン別移行ステップ
 - ツールを利用して移行するパターン
 - お客様による手動移行のパターン
 - ツールおよび手動移行併用のパターン

はじめに

つながろう。驚きを。幸せを。



■本ガイドラインの位置づけ

- 既存のSDPF クラウド/サーバー（旧Enterprise Cloud2.0）につきましては提供から8年以上が経過しております。その間、新しいテクノロジーの導入を進めており、2021年6月のJP7からは大容量化等を実現した新基盤にて提供しております。
- JP5につきましてもソフトウェアの更新などを進めておりましたが、各種構成機器およびソフトウェアのサポート期限の問題等から、新基盤へバージョンアップすることとなりました。
ご利用中のお客様には安心して引き続きご利用いただくために、新基盤へのバージョンアップのご協力をお願いいたします。
- 本ガイドラインは、移行概要について記載しております。

はじめに

■本ガイドラインの構成

- 本ガイドラインは、以下の構成となっております。
 - はじめに : 本ガイドラインそのものの解説、移行概要、スケジュールなどを記載しております。
 - 概要 : サービスごとの移行方法、移行ステップ、お客様の作業が必要なメニューなどを記載しております。

はじめに

つながろう。驚きを。幸せを。



■本ガイドラインご利用上の注意事項

- 本ガイドラインは、あくまで移行イメージの紹介となるため、お客さまが実際にご利用中のイメージと一致しない点がございます。
- 本ガイドラインは、移行概要の記載を行っております。移行についての詳細は、各詳細手順をご参照ください。

はじめに

つながる。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

■新基盤への移行によるメリット

- 提供メニューについて、新基盤は、現行基盤と基本的には同様のメニューを提供いたします。
なお、一部サービスやOSはすでに提供が終了しているものもございますので、それらについてはアップグレードが必要となります。

新基盤における強化ポイント

解決できる課題



基本性能 向上

- サーバー/ネットワーク/ストレージの性能向上(1.5～3倍)
- 最新世代のCPUを採用した物理サーバーの提供
- 大容量メモリを搭載した仮想サーバーの提供
- 1リージョンあたりの収容上限拡大(1.4倍)



高セキュリティ

- 新バージョンのOS/ソフトウェアの提供
- 仮想サーバーの暗号化機能の提供



機能拡充

- 安価にWasabiと閉域接続する機能の提供
- GPUを搭載した物理サーバーの提供



信頼性向上

- ネットワークアーキテクチャ変更に伴う、想定外の両系断障害の軽減 (30件/6年 → 0件)
- ストレージアーキテクチャ変更による信頼性向上

クラウド利用拡張の際、現行基盤ではサービスの収容限界によりできなかったリソース拡張ができる

サポートの切れたOSから、最新のOSへのアップデートができる

オンプレサーバーの保守更改により費用増加したため、代替策として検討できる

はじめに

■新基盤における仮想サーバーに関する強化ポイントの詳細

・仮想サーバーの基盤性能向上

仮想サーバーメニューでは新しいハードウェアを採用することで、より高い性能の仮想サーバーのご提供を開始しております。新基盤に移行していただくことにより、ご利用可能となります。主な変更は下記のとおりです。

#	メニュー	フレーバー変更	性能変更	価格変更
1	サーバーインスタンス Compute	v1からv2フレーバへ変更	CPU性能が 最大約70%* 向上 ※お客様がご利用の仮想サーバーにより 性能向上率は異なります	CPU:メモリー比が、1:2、1:4フレーバーのみ 約3~4%増 ※1:8、1:16は据え置き
2	サーバーインスタンス Volume	Type-AからType-B変更	IOPSは 約30% 、Throughputは 約100% の性能向上	300GB以上のフレーバーのみ 約10%増 ※300GB未満は据え置き

・移行期間における料金減免措置

基盤更改の対象リージョンにつきましては、移行処置として料金負担軽減を**自動で適用**します。

料金：新メニューの料金を既存メニューと同額に減免

期間：新基盤への移行終了時から2028年7月末(移行期間終了日の半年後)まで



■移行スケジュール

- JP5リージョンは東京第2データセンターから埼玉第1データセンターへ設備更改する関係上、2026年4月～2028年1月末までを移行期間としております。
- 以下表の現行基盤サービス終了日を超過して、新基盤への移行が完了していなかった場合は、弊社にて解約のお手続きをさせていただきます。解約処理が完了するとリソースが削除されますので、ご注意ください。
- JP5リージョンは、2021年4月に新規テナント作成の停止を実施、作成済みテナント内のリソース追加については在庫限りで引き続き可能な状態です。詳細はこちらをご参照ください。

<https://sdpf.ntt.com/news/2021041901/>

【表2】各リージョンの移行スケジュール表

基盤構成	リージョン	データセンター（現行）		データセンター（新基盤）	新基盤 サービス開始日	現行基盤 サービス終了日
現行基盤	JP5	東京第2データセンター	→	埼玉第1データセンター	2026/4/1	2028/1/31
新基盤	JP7	東京第11データセンター	（対象外）	-	-	-
	JP8	大阪第7データセンター	（対象外）	-	-	-

はじめに

■ お問い合わせ方法

- 本件に関するお問い合わせは、ビジネスポータル画面からチケットにて受け付けております。
- チケットによるお問い合わせ方法について、詳細はこちらをご参照ください。
(お問い合わせ種別にて、「General Inquiry(設備更改のガイドラインおよび手順書に関するお問い合わせ)」を選択してください)
<https://sdpf.ntt.com/services/docs/support/tutorials/ticket/ticket.html>
- 移行に関連する不具合事象(移行ツールが動作しない、移行後の不具合など)については「Incident Submission」を選択してください。
- 次ページ以降で画面イメージも併せて記載した手順を記載しておりますのでご確認ください。
- チケットによるお問い合わせでは、本件に関するお客様および再販先協力会社さま向けのサポートを行います。
 - * 移行ガイドライン/移行手順書の中身に関するご質問
 - * お客様と弊社の役割に関するご質問

はじめに

つながり。驚き。幸せ。

 **docomo Business**

■ お問い合わせ方法

- ・ビジネスポータルへログインし、故障・お問い合わせの新規作成を選択します。

 NTTドコモビジネスの法人ご契約者向けサイト
ビジネスポータル

ご契約に関する情報、チケット、マニュアルなどが検索

ご契約中のサービスから選ぶ

最近の操作・ピン留め NEW

ポータル管理者向け

お知らせ

お問い合わせ

マニュアル

① 最近の操作

すべて >

お知らせ

すべて >

公開日	サービス名	件名
2022年3月3日 JST	Arcstar Universal One	アナウンス追加テスト
2022年2月24日 JST	Arcstar Universal One	<編集>Djangoバージョンアップ確認 ALL
2021年11月12日 JST	お客さま体感品質モニ...	<編集>Djangoバージョンアップバリデーションエラー確認
2021年10月19日	Arcstar SIP Trunking	IPt...

故障・お問い合わせ (0件)

新規作成

すべて >

お申し込み進捗 (0件)

すべて >

現在、対応中の故障・お問い合わせはありません。

現在、未完了のオーダーはありません。

お客さまの声を反映しました

付箋メモ

- ・ 8/28 BOCN IPoEのステータスダッシュボード機能が追加されました(再掲)
- ・ 8/27 【OCN for Business】ステータスダッシュボードを提供開始しました
- ・ 8/26 【Arcstar IP Voice】電話番号検索画面の検索結果をCSVダウンロード可能にしました

→過去のお客さまの声による改善

ビジネスポータルを使いこなす

ビジネスポータルをより便利にお使いいただける機能の一部をご紹介します。

Arcstar Universal One

- ・ ネットワーク設定の変更 (拠点のNWアドレス、フィルタリング、DNS等。数十分/無料)
- ・ 回線故障?と思ったときの回線調査
- ・ 回線契約お申し込み時の進捗状況確認

はじめに

つながろう。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

■ お問い合わせ方法

- 「サービスに関するポータル内機能の操作方法や不具合、サービスの故障や仕様に関するお問い合わせ」を選択し、「サービス選択へ進む」を押下します。

 **新規お問い合わせ作成**

 お問い合わせ機能のご利用方法 

故障・お問い合わせ一覧 

☒ **サービスに関するポータル内機能の操作方法や不具合、サービスの故障や仕様に関するお問い合わせ**
各サービスが提供する機能の操作方法やその不具合、サービスの故障や仕様に関するお問い合わせなどはこちらを選択してください。
対象：Smart Data Platform

☐ **ログイン・サービス名や契約が表示されない・ユーザー管理方法に関するお問い合わせ**
ビジネスポータルにログインできないなどログインにお困りの場合、メニューの表示不具合、ユーザー登録／ユーザーグループ登録などのお問い合わせはこちらを選択してください。

サービス選択へ進む 

はじめに

■ お問い合わせ方法

- 「Smart Data Platform」を選択し、「内容の入力へ進む」を押下します。

 **新規お問い合わせ作成**

 お問い合わせ機能のご利用方法 

故障・お問い合わせ一覧 

お問い合わせしたいサービス名を選択してください。

☐ Smart Data Platform

☒ Smart Data Platform

戻る

 **内容の入力へ進む**

はじめに

つながろう。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

■ お問い合わせ方法

- お問い合わせを行いたいメニューを選択し、「内容の入力へ進む」を押下します。
※以下画像では、例として「Arcserve Cloud Direct」を選択しています。



The screenshot displays the NTT docomo Business portal interface. At the top, there is a header with the logo, a search bar, and navigation links. Below the header, a blue navigation bar contains links for 'ご契約中のサービスから選ぶ', '最近の操作・ピン留め', and 'ポータル管理者向け'. The main content area shows a breadcrumb trail: 'ホーム / Smart Data Platform 新規お問い合わせの作成'. The page is divided into sections for selecting services. The 'プラットフォームサービス' (Platform Services) section includes 'Enterprise Cloud for ERP' and 'IaaS Powered by VMware'. The 'パートナークラウド' (Partner Cloud) section includes 'Power Systems', 'Hybrid Cloud with Microsoft Azure', 'Hybrid Cloud with GCP', and 'Hybrid Cloud with AWS'. The 'バックアップ' (Backup) section is highlighted with a red box, and 'Arcserve Cloud Direct' is selected with a radio button. The '構築/開発ツール' (Build/Development Tools) section includes 'WebRTC Platform SkyWay'. At the bottom, there are two buttons: '戻る' (Back) and '内容の入力へ進む' (Proceed to input content), with the latter highlighted by a red box. A chat icon is visible in the bottom right corner.

はじめに

つながろう。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

■ お問い合わせ方法

- 「General Inquiry(設備更改のガイドラインおよび手順書に関するお問い合わせ)」を選択し、「内容の入力へ進む」を押下します。

※ただし、移行ツールの不具合など、設備更改中の不具合事象の問い合わせについては「Incident Submission」を選択してください。



NTT docomo Business | NTTドコモビジネスの法人ご契約者向けサイト
ビジネスポータル

ご契約中のサービスから選ぶ | 最近の操作・ピン留め **NEW** | ポータル管理者向け

お知らせ | お問い合わせ | マニュアル

このページを印刷する | このページに対するご意見

お問い合わせ種別 **必須**

ご契約番号 : [REDACTED]
カテゴリ : クラウド/サーバー | メニュー : Arcserve Cloud Direct

種別

☐ General Inquiry

☐ Incident Submission

☒ General Inquiry(設備更改のガイドラインおよび手順書に関するお問い合わせ)
※設備更改に関連する不具合事象(移行ツールが動作しない、移行後の不具合など)については「Incident Submission」を選択してください

戻る | **内容の入力へ進む**

カスタマポータル規約 | プライバシーポリシー | クッキーとウェブ・ビーコンについて

© NTT DOCOMO BUSINESS, Inc. All Rights Reserved. | NTT docomo Business

はじめに

つながろう。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

■ お問い合わせ方法

- 必要事項を入力してください。

 NTTドコモビジネスの法人ご契約者向けサイト
ビジネスポータル

ご契約中のサービスから選ぶ最近の操作・ピン留め **NEW**ポータル管理者向け

 お知らせ  お問い合わせ  マニュアル

 / Smart Data Platform 新規お問い合わせの作成 このページを印刷する このページに対するご意見

件名	必須	 (160文字以内)
ワークスペース	必須	
リージョン	必須	-
テナントID	必須	
注意事項		上記「詳細分類」を変更すると、「詳細」欄の記載内容がクリアされますのでご注意ください。 お問い合わせ内容にプログラムコードや SQL 文等を含む場合には、 セキュリティ上の理由でチケット作成時にエラーが発生する場合がございます。 テキストファイルとして添付いただくことでチケット作成が可能です。 お客さま環境の設計・構築・パフォーマンスチューニングや、 お客様が個別に導入したアプリケーションの検証などの技術サポートやお問い合わせは対象外とします。
詳細	必須	



はじめに

つながろう。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

■ お問い合わせ方法

- お問い合わせ更新時の通知先を選択し、「お問い合わせを作成する」を押下します。
※チケット作成が完了した後、通知先として選択したメールアドレスへ受付完了メールが送信されます。



NTT docomo Business

NTTドコモビジネスの法人ご契約者向けサイト
ビジネスポータル

ご契約中のサービスから選ぶ
最近の操作・ピン留め **NEW**
ポータル管理者向け

お知らせ お問い合わせ マニュアル

/ Smart Data Platform 新規お問い合わせの作成

このページを印刷する このページに対するご意見

お問い合わせ更新時の通知先 **必須**

お問い合わせ更新時の通知先を選択して編集してください。

キーワード検索

追加 →

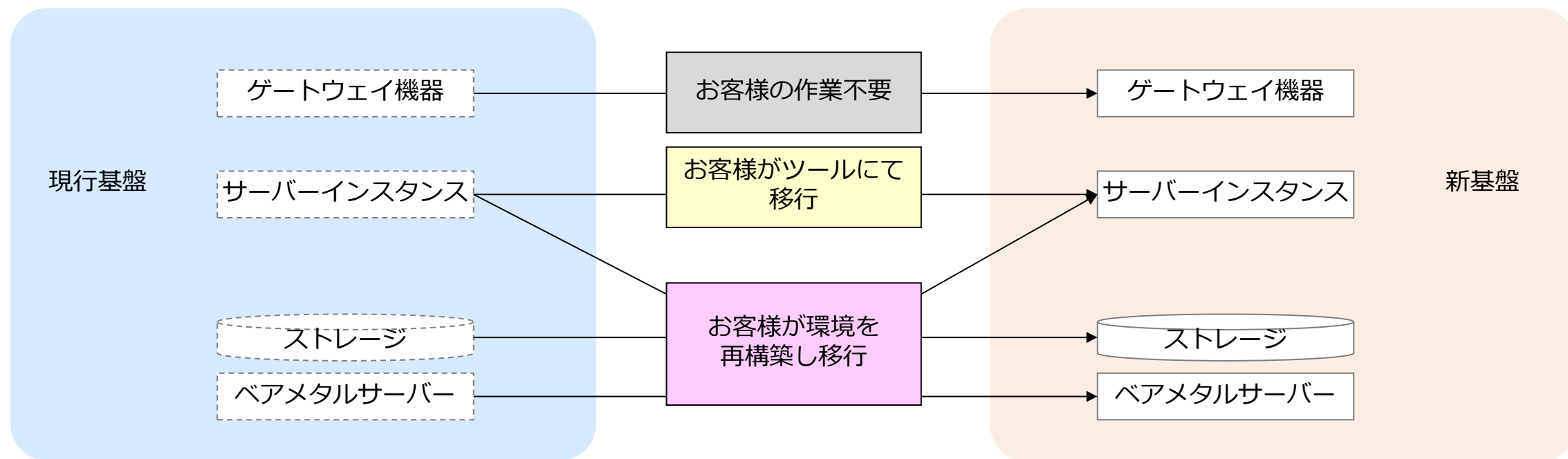
← 削除

戻る

お問い合わせを作成する

■移行作業概要

- ・ 移行作業については、以下の通りとなります。
- ・ 次ページ以降に、メニューごとの移行方針を記載します。
 - * お客様作業不要で弊社にて移行作業を実施するサービス
 - * お客様にツールを用いて移行作業をしていただく必要があるサービス
 - * お客様に再構築していただく必要があるサービス（コロケーション接続については物理作業を伴います）



概要

■仮想サーバー

構成パターン別の移行方針

各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りとなります。

- ・ 移行元、移行先OSのメジャーバージョンが同じ、かつ新環境で提供されているOSの場合は、ツールにて移行
- ・ 提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートを推奨。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
Windows server 2012R2	Windows Server 2019 / 2022 / 2025	データ移行
Windows server 2016	Windows Server 2016 / 2019 / 2022 / 2025	ツールにて移行(2016)
		データ移行(2019/2022/2025)
Windows server 2019	Windows Server 2019 / 2022 /2025	ツールにて移行(2019)
		データ移行(2022/2025)
Windows server 2022	Windows Server 2022/2025	ツールにて移行(2022)
		データ移行(2025)
Red Hat Enterprise Linux 7 + ELS	Red Hat Enterprise Linux 7 + ELS/8/9	ツールにて移行(7 + ELS)
		データ移行(8/9)
Red Hat Enterprise Linux 8	Red Hat Enterprise Linux 8/9	ツールにて移行(8)
		データ移行(9)
Red Hat Enterprise Linux 9	Red Hat Enterprise Linux 9	ツールにて移行
無償OS (Ubuntu、Rocky Linux、CentOS)	無償OS (Ubuntu、Rocky Linux、CentOS) ※移行元と同一OSかつ同一バージョンであること	ツールにて移行

つながろう。驚きを。幸せを。

 NTT Docomo Business

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

概要

つながる。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

■仮想サーバー

構成パターン別の移行方針

SQL Serverを含むオフィシャルイメージテンプレートをご利用いただている場合の各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートを推奨しております。移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行してください。

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
Windows server 2012R2 +SQL Server 2014	Windows Server 2019 / 2022 / 2025 +SQL Server 2019 / 2022	データ移行
Windows server 2016 +SQL Server 2016 / 2017	Windows Server 2019 / 2022 / +SQL Server 2019 / 2022	データ移行
Windows server 2019 +SQL Server 2019	Windows Server 2019 / 2022 +SQL Server 2019 / 2022	ツールにて移行(2019)
		データ移行(2022)
Windows server 2022 +SQL Server 2022	Windows Server 2022 +SQL Server 2022	ツールにて移行

概要

■仮想サーバー

構成パターン別の移行方針

OracleDBを含むオフィシャルイメージテンプレートをご利用いただている場合の各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。
提供終了/サポート終了しているOSに関しては、アップデートを推奨。
移行先バージョンが異なるので、データ移行にて移行。

つながろう。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
Windows server 2012R2 +OracleDB-12.1 EE / SE2	Windows Server 2019 / 2022 / 2025 +OracleDB-19.3 EE / SE2	データ移行
Windows server 2016 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Windows Server 2019 / 2022 / 2025 +OracleDB-19.3 EE / SE2	データ移行
Windows server 2019 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Windows Server 2019 +OracleDB-19.3 EE / SE2	ツールにて移行
Windows server 2022 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Windows Server 2022 +OracleDB-19.3 EE / SE2	ツールにて移行
Red Hat Enterprise Linux 7 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Red Hat Enterprise Linux 7/8/9 +OracleDB-19.3 EE / SE2	ツールにて移行(7)
		データ移行(8/9)
Red Hat Enterprise Linux 8 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Red Hat Enterprise Linux 8/9 +OracleDB-19.3 EE / SE2	ツールにて移行(8)
		データ移行(9)
Red Hat Enterprise Linux 9 +OracleDB-19.3 EE / SE2	Red Hat Enterprise Linux 9 +OracleDB-19.3 EE / SE2	ツールにて移行
OracleLinux-7.1 +OracleDB-12.1 EE / SE2	Red Hat Enterprise Linux 8以降	データ移行

概要

■仮想サーバー

構成パターン別の移行方針

RDS SALを含むオフィシャルイメージテンプレートをご利用いただいている場合の各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

セル色の凡例：	お客様の作業不要
	お客様がツールにて移行
	お客様が環境を再構築し移行

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
RDSSAL Windows server 2012R2	RDSSAL Windows Server 2019 / 2022 / 2025	データ移行
RDSSAL Windows server 2016	RDSSAL Windows Server 2019 / 2022/ 2025	ツールにて移行(2016) データ移行(2019/2022/2025)
RDSSAL Windows server 2019	RDSSAL Windows Server 2019 / 2022/ 2025	ツールにて移行(2019) データ移行(2022/2025)
RDSSAL Windows server 2022	RDSSAL Windows Server 2022 / 2025	ツールにて移行(2022) データ移行(2022/2025)

概要

■ベアメタルサーバー

各OSの移行方針

各移行元のOSと移行先のOSの一覧は以下の通りです。

OSのメジャーバージョンが異なる場合はデータ移行、同様の場合はバックアップ&リストアにて移行可能です。

※お客様自身で持ち込んだプライベートISOは、本移行手順の対象外となっております。

お客様にて適切な移行方針で移行いただく必要がございます。

移行元OS	移行先OS	移行方針
Windows Server 2016	Windows Server 2022	データ移行
Windows Server 2019	Windows Server 2022	データ移行
Windows Server 2022	Windows Server 2022	バックアップ&リストア 6. ベアメタルサーバーのバックアップ&リストア概要および手順 Windows Server2022編 - ユースケース ユースケース Smart Data Platform Knowledge Center
Red Hat Enterprise Linux 7	Red Hat Enterprise Linux 8以降	データ移行
Red Hat Enterprise Linux 8	Red Hat Enterprise Linux 8	バックアップ&リストア 2. ベアメタルサーバーのバックアップ&リストア概要および手順 RHEL8.8編 - ユースケース ユースケース Smart Data Platform Knowledge Center
Red Hat Enterprise Linux 9	Red Hat Enterprise Linux 9	バックアップ&リストア 2. ベアメタルサーバーのバックアップ&リストア概要および手順 RHEL8.8編 - ユースケース ユースケース Smart Data Platform Knowledge Center
Ubuntu 16.04	Ubuntu 24.04	データ移行
Ubuntu 18.04	Ubuntu 24.04	データ移行
プライベートISO	プライベートISO	お客様自身にて適切な移行方針を策定

つながろう。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

概要

■ハイパーバイザー

各バージョンの移行方針

移行元と移行先のバージョンは以下の通りです。

移行元バージョンが6以前はエクスポート&インポート、移行元バージョンが7以降はオンライン移行で新環境へ移行可能です。

つながろう。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

移行元バージョン	移行先バージョン	移行方針
vSphere ESXi 5.5	vSphere ESXi 8.0	パターンB：インベントリ登録解除および登録による仮想マシン移行 パターンC：OVFまたはOVAファイルのエクスポートおよびインポートによる移行 1.1.1. vSphere ESXi 8.0環境への移行手順 - ユースケース ユースケース Smart Data Platform Knowledge Center
vSphere ESXi 6.0	vSphere ESXi 8.0	
vSphere ESXi 6.5	vSphere ESXi 8.0	
vSphere ESXi 6.7	vSphere ESXi 8.0	
vSphere ESXi 7.0	vSphere ESXi 8.0	パターンA：vMotionによるバージョンアップ 1.1.1. vSphere ESXi 8.0環境への移行手順 - ユースケース ユースケース Smart Data Platform Knowledge Center
vSphere ESXi 8.0	vSphere ESXi 8.0	

概要

■ミドルウェア

- データ移行を実施する際にArcserve Unified Data Protection (以下、Arcserve UDP) を利用しない場合、移行元に展開したミドルウェア/ライセンスは新規にインストールする必要があります。
各サーバーの移行方針をご確認ください。

つながろう。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

	物理サーバー / ベアメタルサーバー	ハイパーバイザー / vSphere	仮想サーバー / サーバーインスタンス
Oracle	移行方針：データ移行 ・ 仮想サーバーのページを参照、仮想サーバーをベアメタルサーバーに読み替えて実施	ハイパーバイザーのページを参照 (追加作業不要：ハイパーバイザーの移行とともに移行)	移行方針：ツールにて移行 ・ 追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
	移行方針：バックアップ＆リストア ・ 追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ・リストアで移行）		移行方針：データ移行 再インストールを実施
SQL Server	提供無し		移行方針：ツールにて移行 ・ 追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
			移行方針：データ移行 再インストールを実施
Arcserve Unified Data Protection	再インストールを実施 Arcserve UDP 8.x から 9.x へのアップグレード手順 Arcserve UDP 8.xおよび9.x からArcserve UDP 10.0 へのアップグレード手順 Arcserve UDP 9.xを用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例 Arcserve UDP 10.0を用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例		移行方針：ツールにて移行 ・ 追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
			移行方針：データ移行 再インストールを実施 Arcserve UDP 8.x から 9.x へのアップグレード手順 Arcserve UDP 8.xおよび9.x からArcserve UDP 10.0 へのアップグレード手順 Arcserve UDP 9.xを用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例 Arcserve UDP 10.0を用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例
			移行方針：データ移行 再インストールを実施 Arcserve UDP 8.x から 9.x へのアップグレード手順 Arcserve UDP 8.xおよび9.x からArcserve UDP 10.0 へのアップグレード手順 Arcserve UDP 9.xを用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例 Arcserve UDP 10.0を用いたSmart Data Platform でのバックアップリストア運用例

概要

■ミドルウェア

- データ移行を実施する際にArcserve Unified Data Protection (以下、Arcserve UDP) を利用しない場合、移行元に展開したミドルウェア/ライセンスは新規にインストールする必要があります。各サーバーの移行方針をご確認ください。

つながろう。驚きを。幸せを。



セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

	物理サーバー / ベアメタルサーバー	ハイパーバイザー / vSphere	仮想サーバー / サーバーインスタンス
HULFT	移行方針：データ移行 ・ 再インストールを実施	ハイパーバイザーのページを参照 (追加作業不要：ハイパーバイザーの移行とともに移行)	移行方針：ツールにて移行 ・ 追加作業不要（ツールにて移行）
	移行方針：バックアップ&リストア ・ 追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ・リストアで移行）		移行方針：データ移行 ・ 追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ・リストアで移行）
Windows Server Remote Desktop Services SAL	提供無し	提供無し	移行方針：ツールにて移行 ・ 追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行）
			移行方針：データ移行 再インストールを実施

概要

■ バックアップ

データ移行を実施する際にArcserve UDPを利用しない場合、移行元に展開したアプリケーションは新規にインストールする必要があります。各サーバーの移行方針をご確認ください

つながろう。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

	物理サーバー / ベアメタルサーバー	ハイパーバイザー / vSphere	仮想サーバー / サーバーインスタンス
Arcserve Cloud Direct	移行方針：データ移行 • 再インストールを実施 9. Arcserve Cloud Direct環境構築手順書 - ユースケース ユースケース Smart Data Platform Knowledge Center	ハイパーバイザーのページを参照 (追加作業不要：ハイパーバイザーの移行とともに移行)	移行方針：ツールにて移行 • 追加作業不要（ツールにて移行で移行）
	移行方針：バックアップ&リストア • 追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ・リストアで移行）		移行方針：データ移行 • 追加作業不要（Arcserve UDPのバックアップ&リストアで移行）

概要

つながり。驚きを。幸せを。

 NTT docomo Business

セル色の凡例： お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

■ストレージ

メニュー	移行方針
ブロックストレージ	再構築・複製
ファイルストレージ	再構築・複製
Wasabiオブジェクトストレージ	移行不要

■セキュリティ

	物理サーバー / ベアメタルサーバー	ハイパーバイザー / vSphere	仮想サーバー / サーバーインスタンス
Managed Anti-Virus	ベアメタルサーバーの移行に併せて アンインストール→インストール にて移行	ハイパーバイザーの移行に併せて アンインストール→インストール にて移行	移行方針：ツールにて移行 ・追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行） 移行方針：データ移行 アンインストール→インストールにて移行
Managed Virtual Patch	ベアメタルサーバーの移行に併せて アンインストール→インストール にて移行	ハイパーバイザーの移行に併せて アンインストール→インストール にて移行	移行方針：ツールにて移行 ・追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行） 移行方針：データ移行 アンインストール→インストールにて移行
Managed Host-based Security Package	ベアメタルサーバーの移行に併せて アンインストール→インストール にて移行	ハイパーバイザーの移行に併せて アンインストール→インストール にて移行	移行方針：ツールにて移行 ・追加作業不要（仮想サーバー移行とともに移行） 移行方針：データ移行 アンインストール→インストールにて移行

概要

■パートナークラウド

メニュー	移行方針
Power Systems	Power SystemsのIBMi/AIXメニューの移行作業およびコロケーション接続はお客様作業不要 (ただしコロケーション接続移行時に断が発生)。 LANコンソール用のサーバーインスタンスはお客様での移行が必要。
Hybrid Cloud with Microsoft Azure	移行不要
Hybrid Cloud with GCP	移行不要
Hybrid Cloud with AWS	移行不要

■プラットフォームサービス

メニュー	移行方針
Enterprise Cloud for ERP	移行不要
IaaS Powered by Vmware	移行不要

つながろう。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

概要

■相互接続/関連サービス

メニュー	移行方針
インターネット接続ゲートウェイ	弊社作業にて移行
Flexible InterConnect接続ゲートウェイ	弊社作業にて移行
FICエントリーパック	FIC接続への再構築 FIC Entry Pack接続からFIC接続への移行手順 - クラウド/サーバー Flexible InterConnect接続ゲートウェイ チュートリアル Smart Data Platform Knowledge Center
コロケーション接続	お客様コロケーションラック内で旧環境から新環境へのケーブルの差し替え
リージョン間接続	弊社作業にて移行
テナント間接続	仮想サーバー/ファイアウォール利用の場合は、仮想サーバー/ファイアウォールを同一のOSで移行（ツールにて移行）する場合は不要。 ※OSが異なる場合は移行後にお客様にて新規にテナント間接続の作成が必要
	ベアメタルサーバー利用の場合は、新規でテナント間接続の作成が必要
docomo MEC接続ゲートウェイ	JP5提供無し
DNS	弊社作業にて移行

つながろう。驚きを。幸せを。



セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

概要

つながり。驚き。幸せ。

 **docomo Business**

セル色の凡例：

お客様の作業不要

お客様がツールにて移行

お客様が環境を再構築し移行

■クラウド/サーバー ローカルネットワーク

メニュー	移行方針
ロジカルネットワーク	弊社作業にて移行
共通機能ゲートウェイ	弊社作業にて移行
ロードバランサー	12.0-53.13を利用の場合は、現行基盤にて最新バージョンで再構築したのち、プラン変更を実施 異なるバージョン間の切替について - ロードバランサー チュートリアル Smart Data Platform Knowledge Center
	ツールにて移行
Managed Load Balancer	弊社作業にて移行

■クラウド/サーバー ネットワークセキュリティ

メニュー	移行方針
ファイアウォール	15.1X49-D105.1 および 19.2R1.8を利用の場合は、現行基盤にて最新バージョンで再構築したのち、プラン変更を実施 異なるバージョン間の切替 - ファイアウォール チュートリアル Smart Data Platform Knowledge Center
	ツールにて移行
Managed Firewall	ツールにて移行
Managed UTM	ツールにて移行
Managed WAF	ツールにて移行

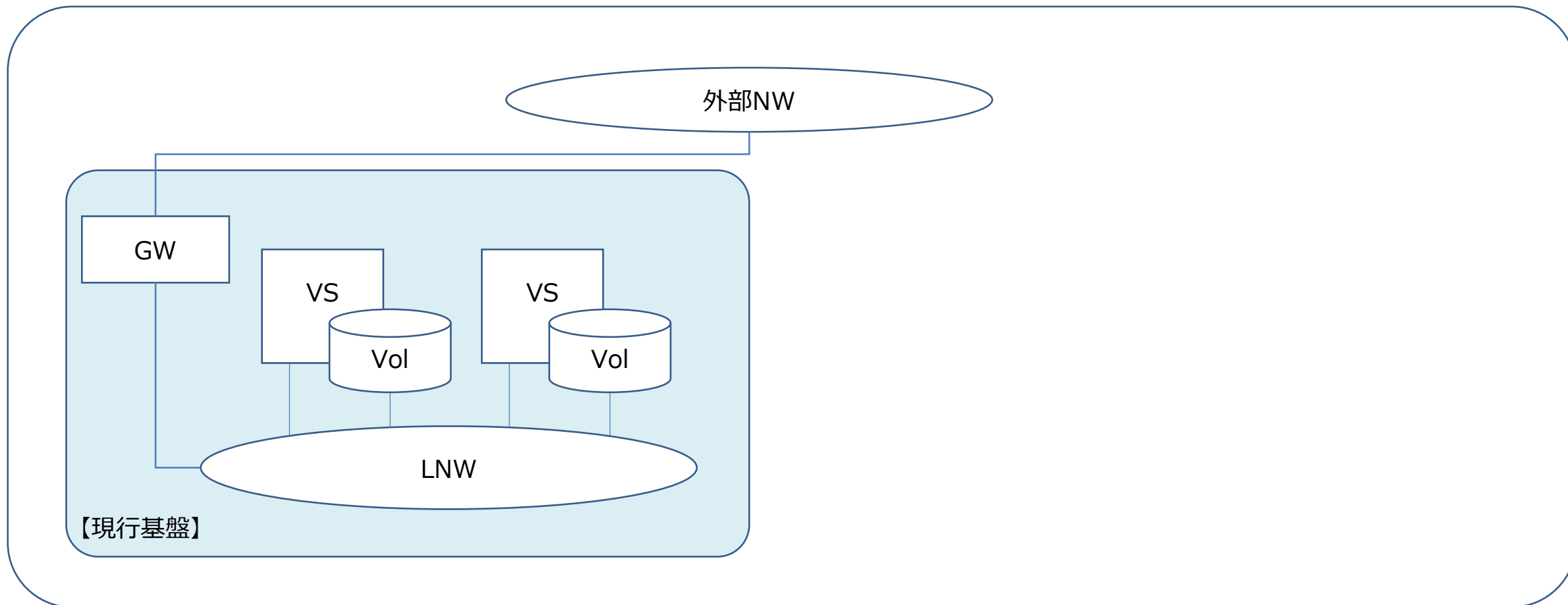
■パターン別移行ステップ

- 移行したい環境・サービスに応じて、以下の3パターンがございます。
 - * お客様にツールを用いて移行作業をしていただく必要があるパターン
 - * お客様に再構築していただく必要があるパターン
 - * お客様にツールを用いて移行、およびお客様に再構築していただく必要があるパターン
- それぞれのパターンに応じた概略的な構成イメージを以降のスライドにて紹介いたします。
- 詳細については、各詳細手順をご参照ください。

概要

■パターン別移行ステップ（ツールを利用して移行するパターン）

- ・ 移行前の構成イメージです。



【凡例】GW : Gateway VS : 仮想サーバー Vol : ボリューム LNW : ロジカルネットワーク

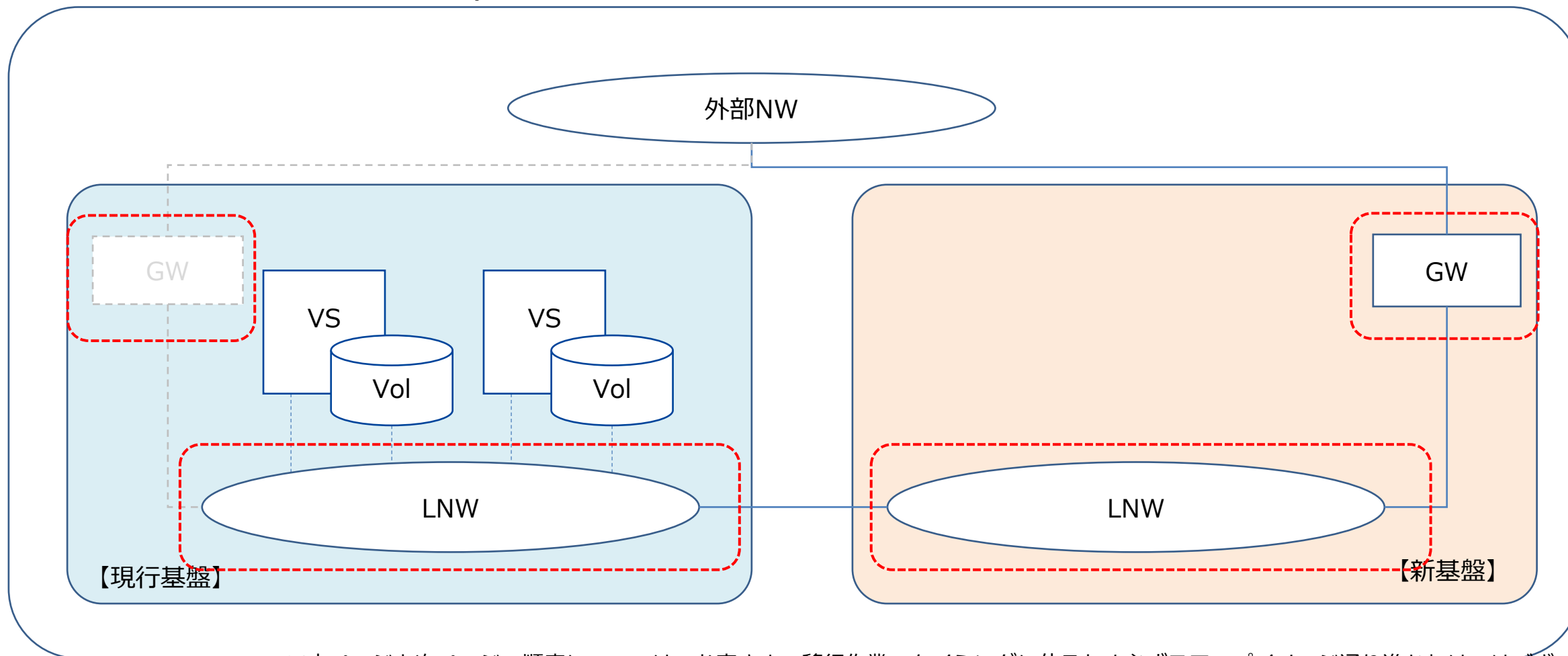
概要

つながろう。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

■パターン別移行ステップ（ツールを利用して移行するパターン）

- 新基盤提供開始後、ロジカルネットワークの新基盤への延伸、ゲートウェイメニューの移行を弊社にて順次実施します。（定期メンテナンスとして実施）

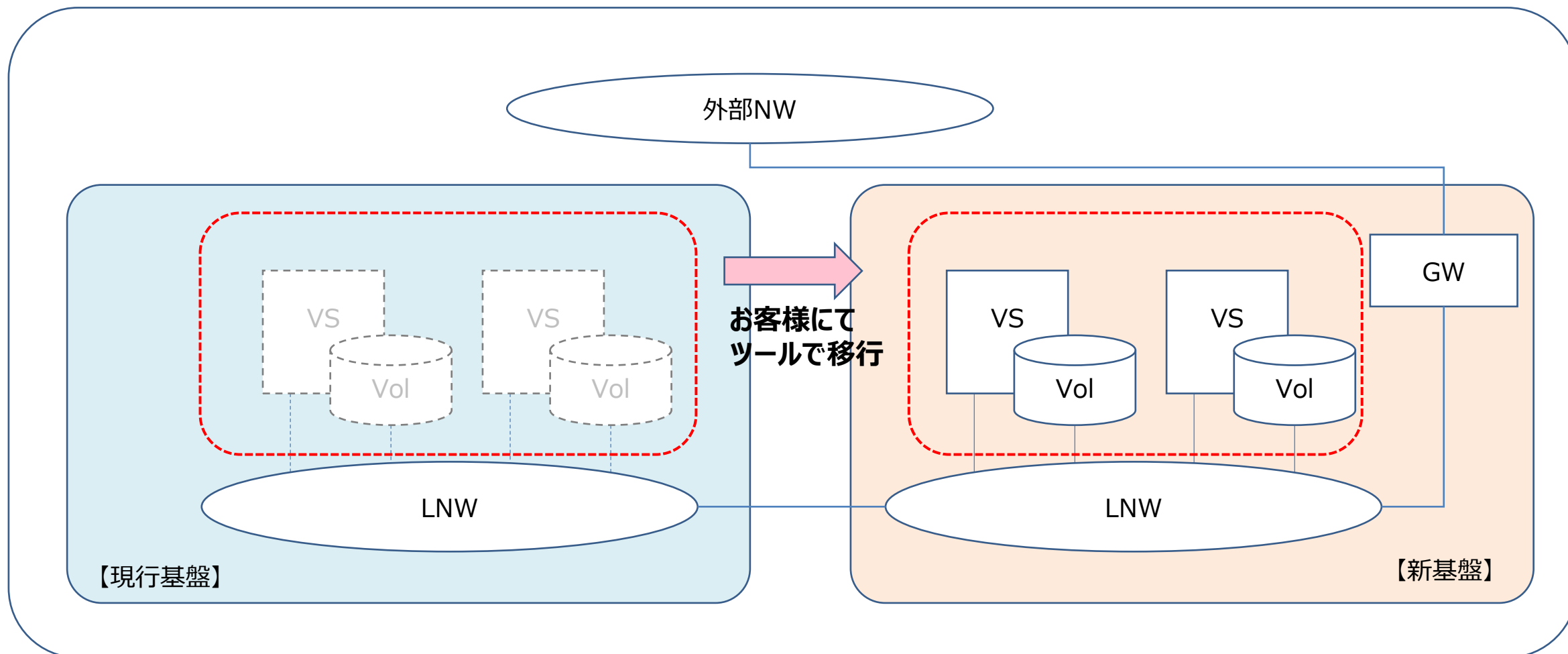


※本ページと次ページの順序については、お客さまの移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではありません

概要

■パターン別移行ステップ（ツールを利用して移行するパターン）

- お客様にて、SDPFポータルから移行ツールを用い、各リソースの移行作業を実施します。

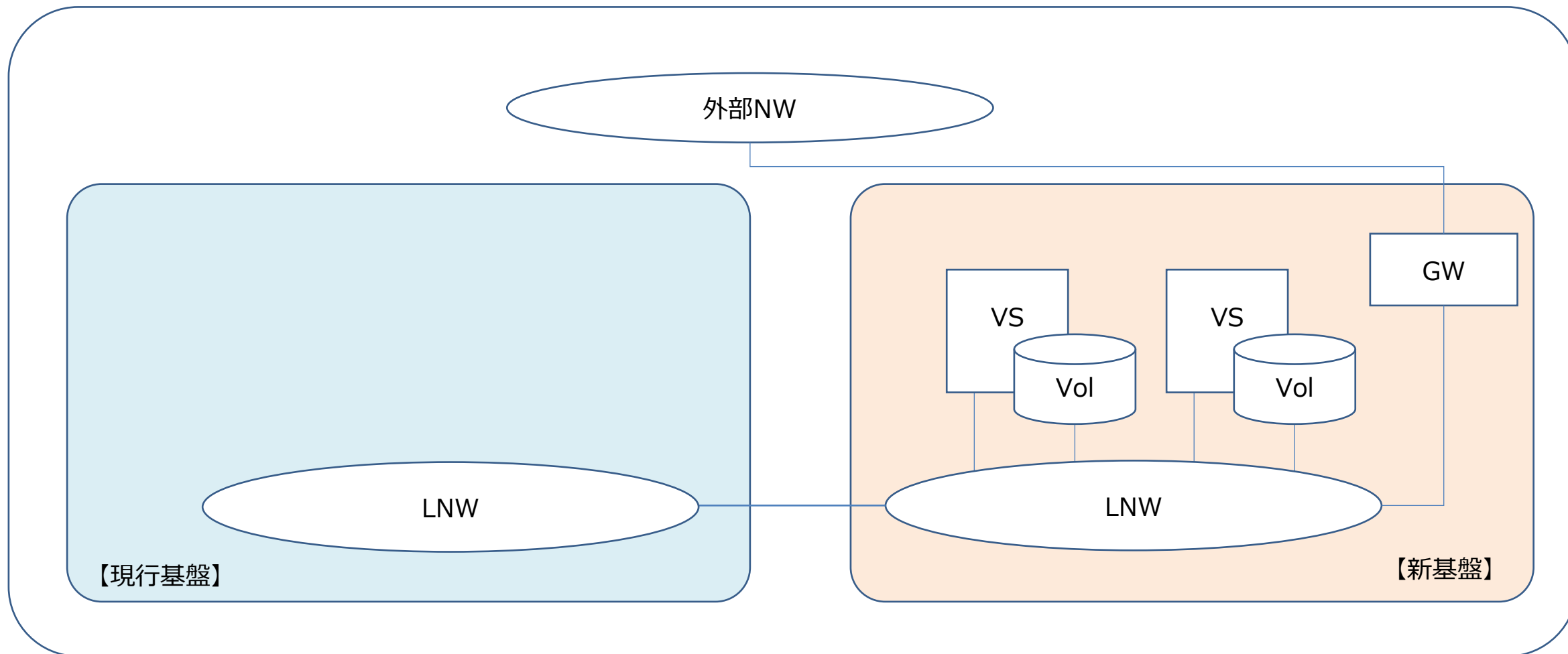


※前ページと本ページの順序については、お客さまの移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

概要

■パターン別移行ステップ（ツールを利用して移行するパターン）

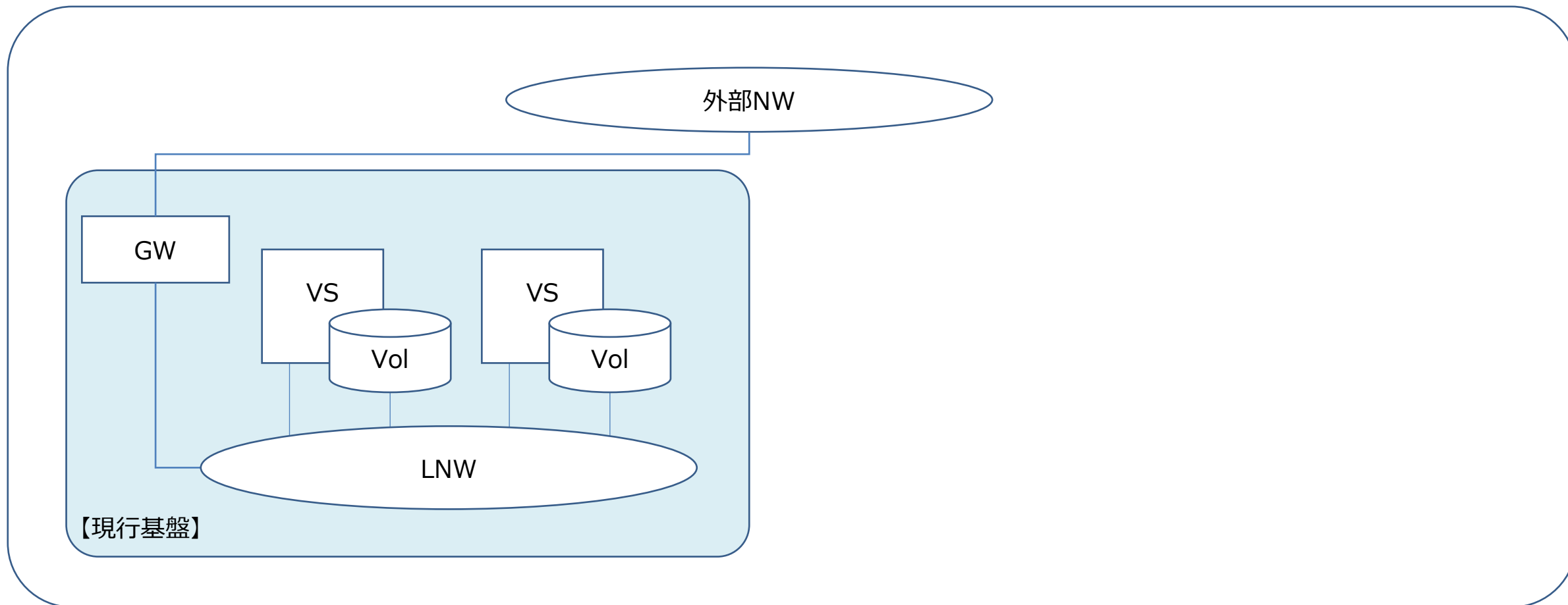
- 移行完了後の構成イメージです。



概要

■パターン別移行ステップ（お客様による手動移行のパターン）

- ・ 移行前の構成イメージです。



【凡例】GW : Gateway VS : 仮想サーバー Vol : ボリューム LNW : ロジカルネットワーク

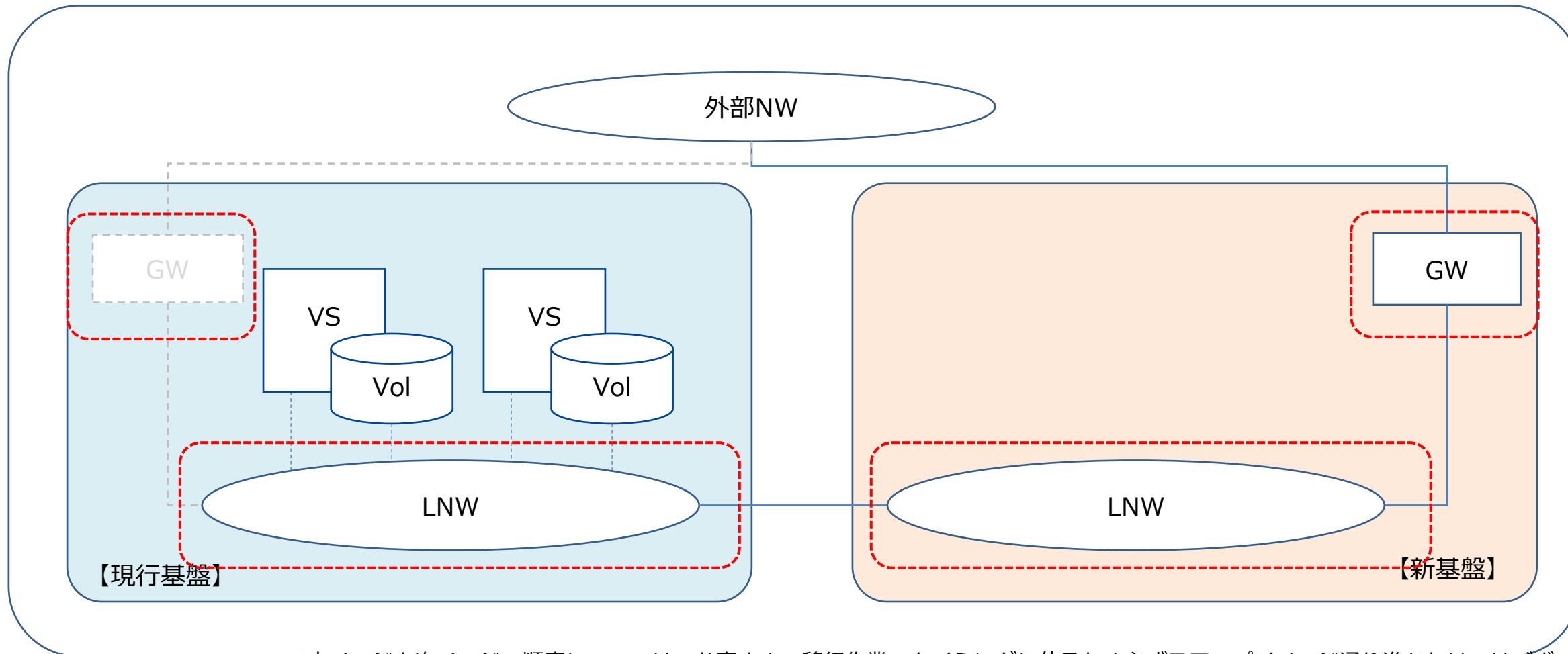
概要

つながる。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

■パターン別移行ステップ（お客様による手動移行のパターン）

- 新基盤提供開始後、ロジカルネットワークの新基盤への延伸、ゲートウェイメニューの移行を弊社にて順次実施します。（定期メンテナンスとして実施）



※本ページと次ページの順序については、お客さまの移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではありません

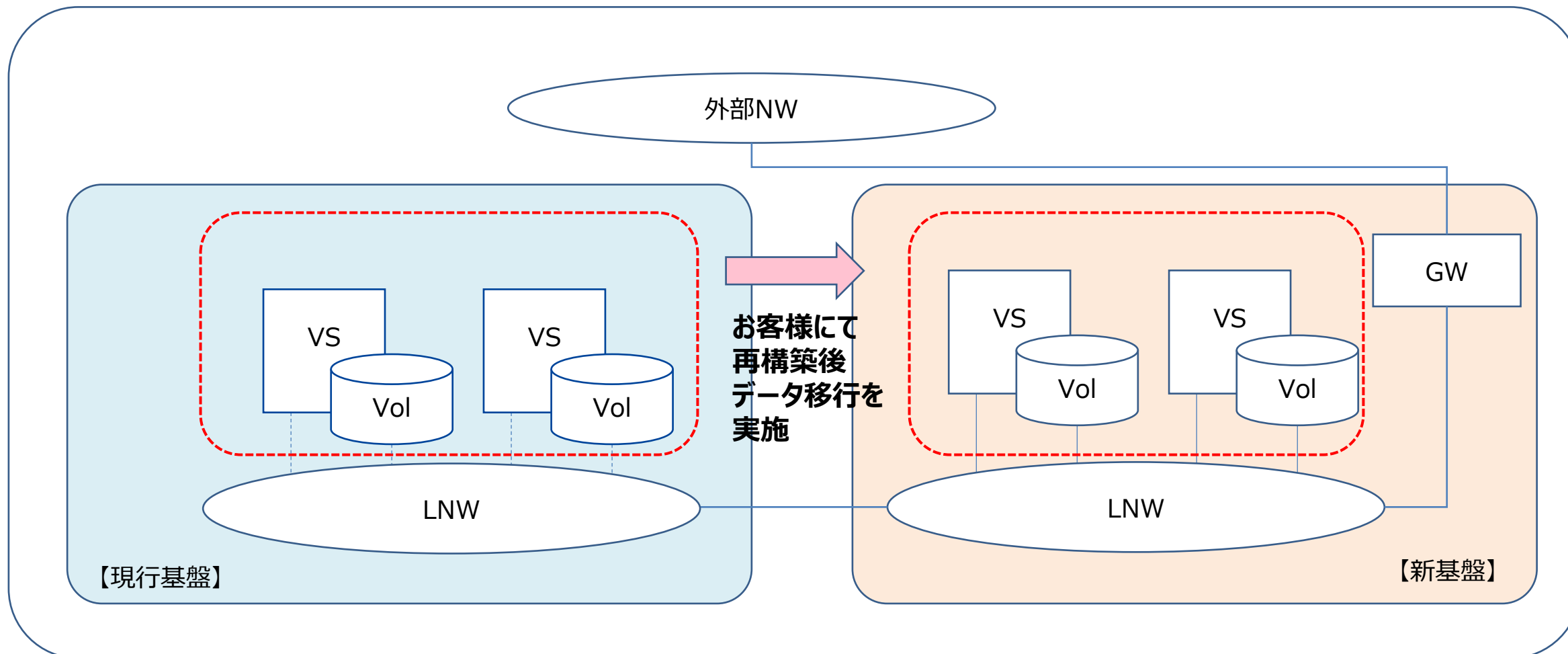
概要

つながる。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

■パターン別移行ステップ（お客様による手動移行のパターン）

- お客様にて各リソースの再構築、データ移行を実施します。

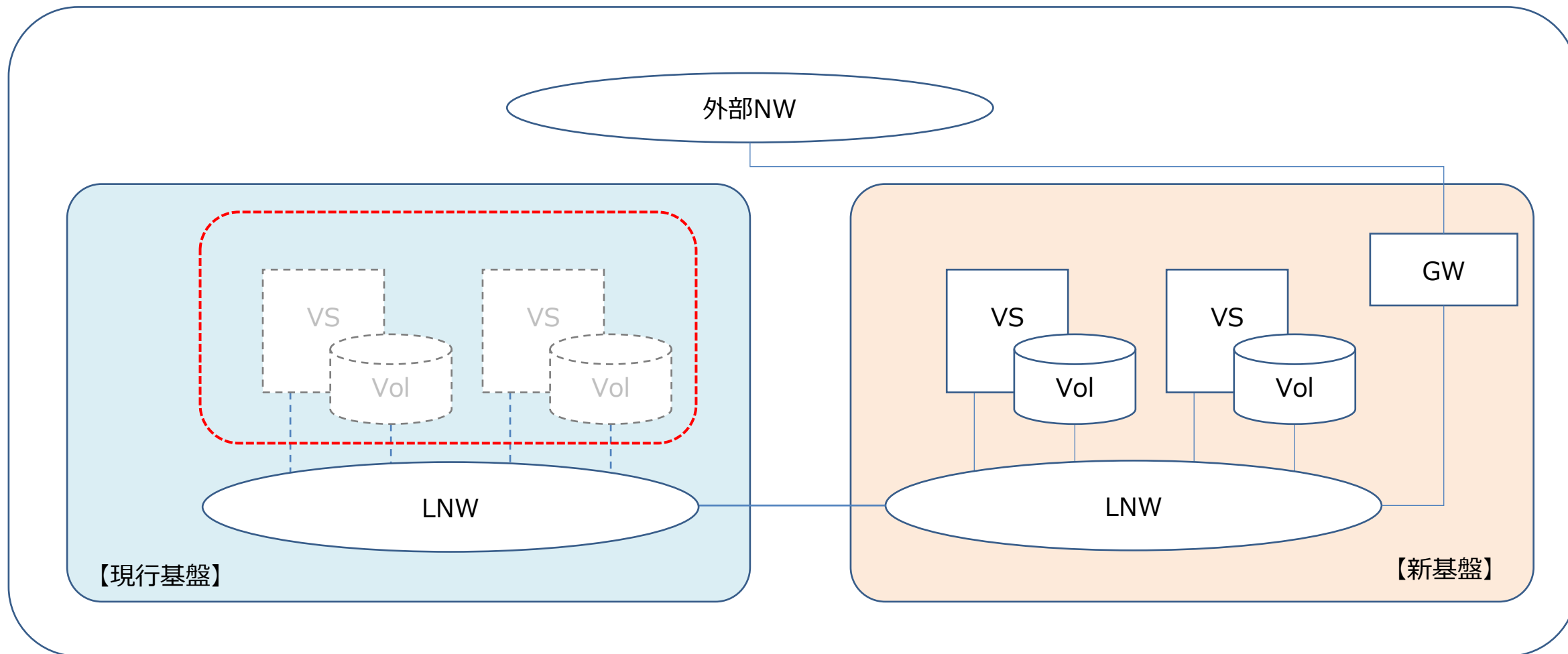


※前ページと本ページの順序については、お客さまの移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

概要

■パターン別移行ステップ（お客様による手動移行のパターン）

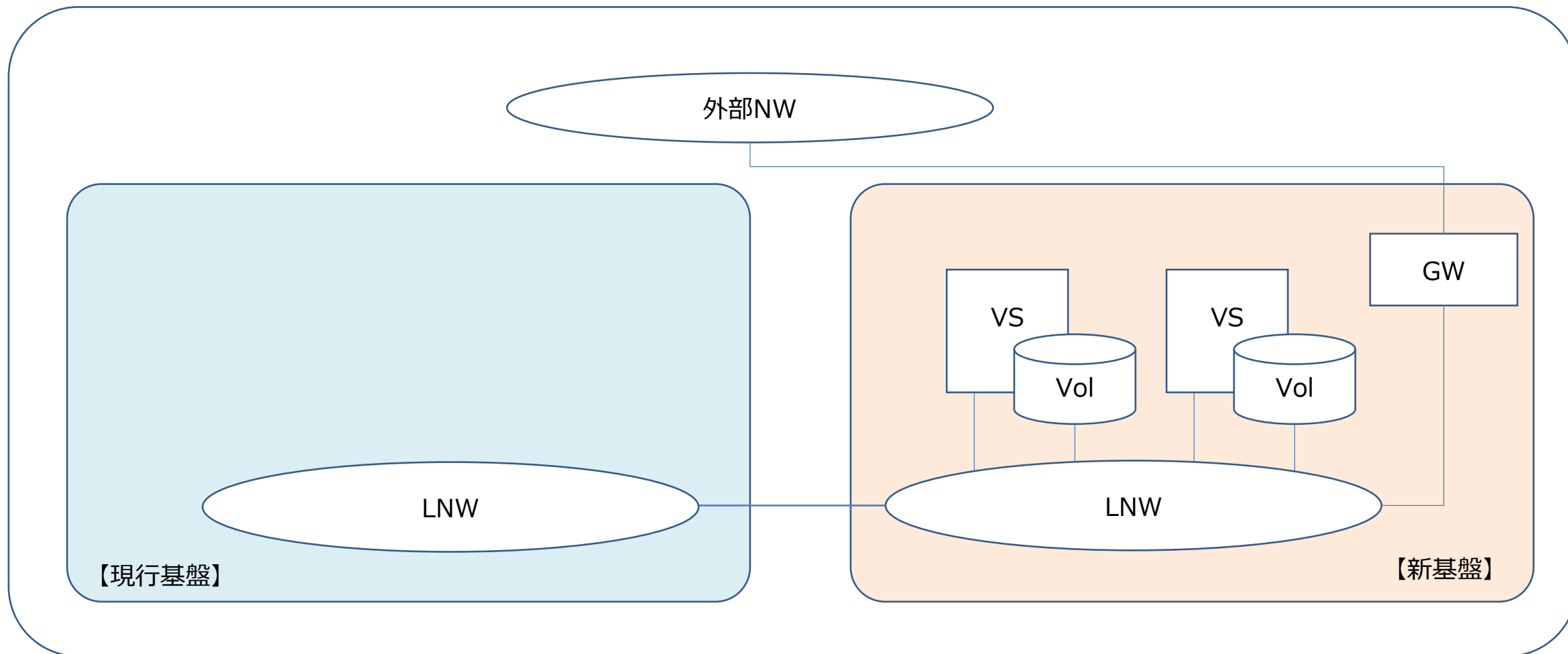
- 移行完了後に現行基盤上のリソースを削除します。



概要

■パターン別移行ステップ（お客様による手動移行のパターン）

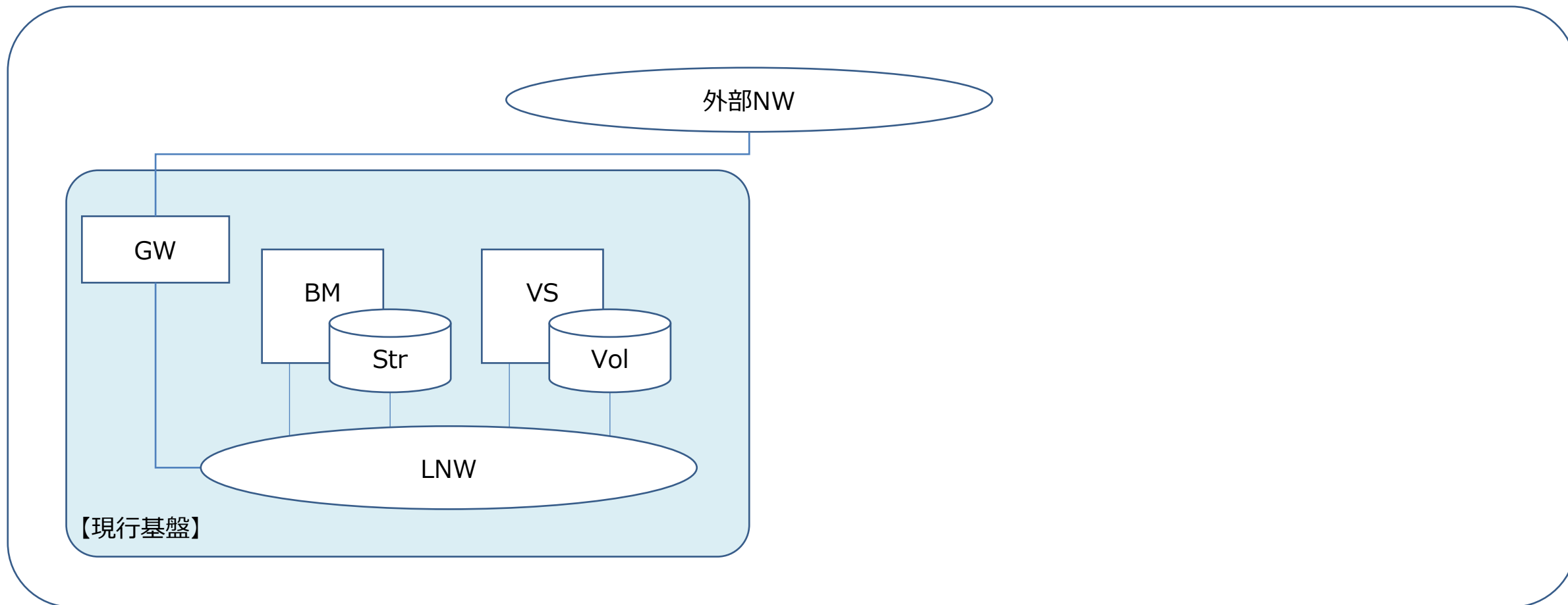
- 移行完了後の構成イメージです。



概要

■パターン別移行ステップ（ツールおよび手動移行併用のパターン）

- ・ 移行前の構成イメージです。



【凡例】GW : Gateway VS : 仮想サーバー Vol : ボリューム Str : ストレージ LNW : ロジカルネットワーク BM : ベアメタルサーバー

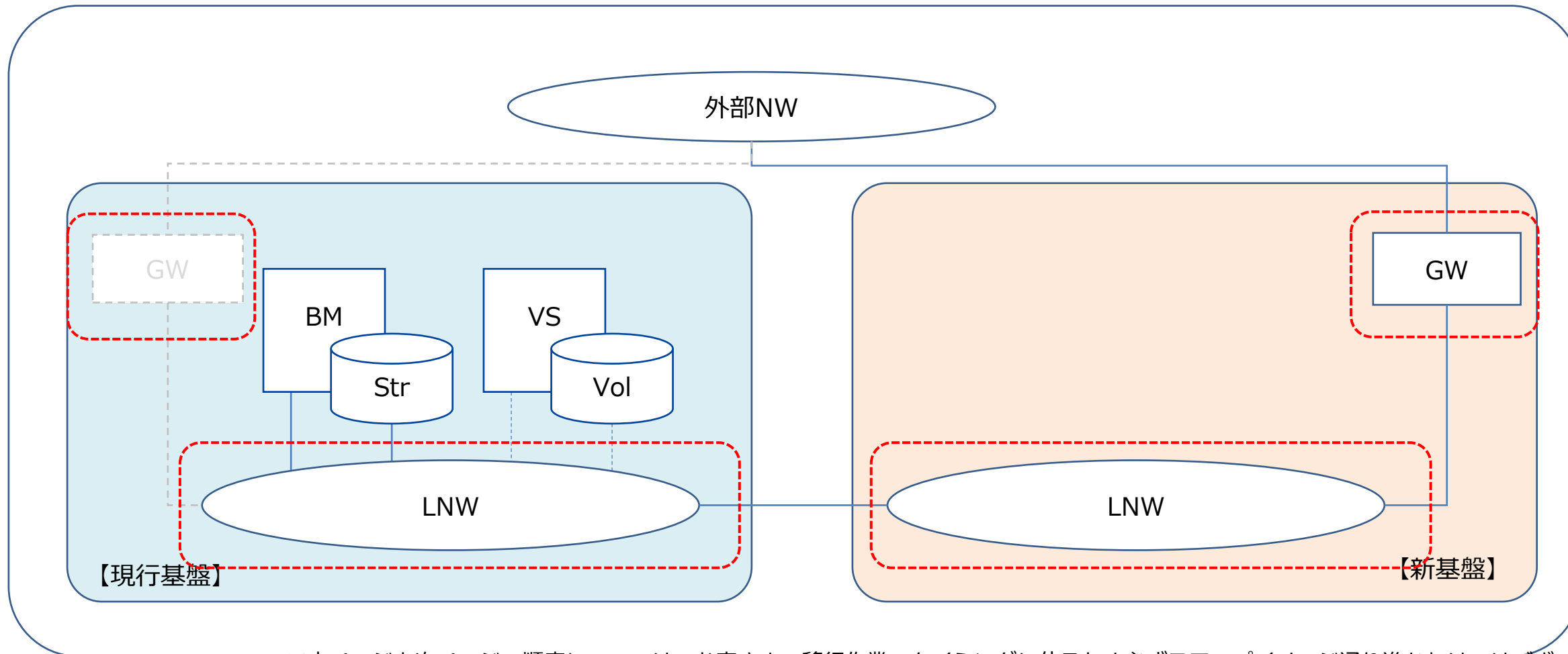
概要

つながる。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

■パターン別移行ステップ（ツールおよび手動移行併用のパターン）

- 新基盤提供開始後、ロジカルネットワークの新基盤への延伸、ゲートウェイメニューの移行を弊社にて順次実施します。（定期メンテナンスとして実施）



※本ページと次ページの順序については、お客さまの移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではありません

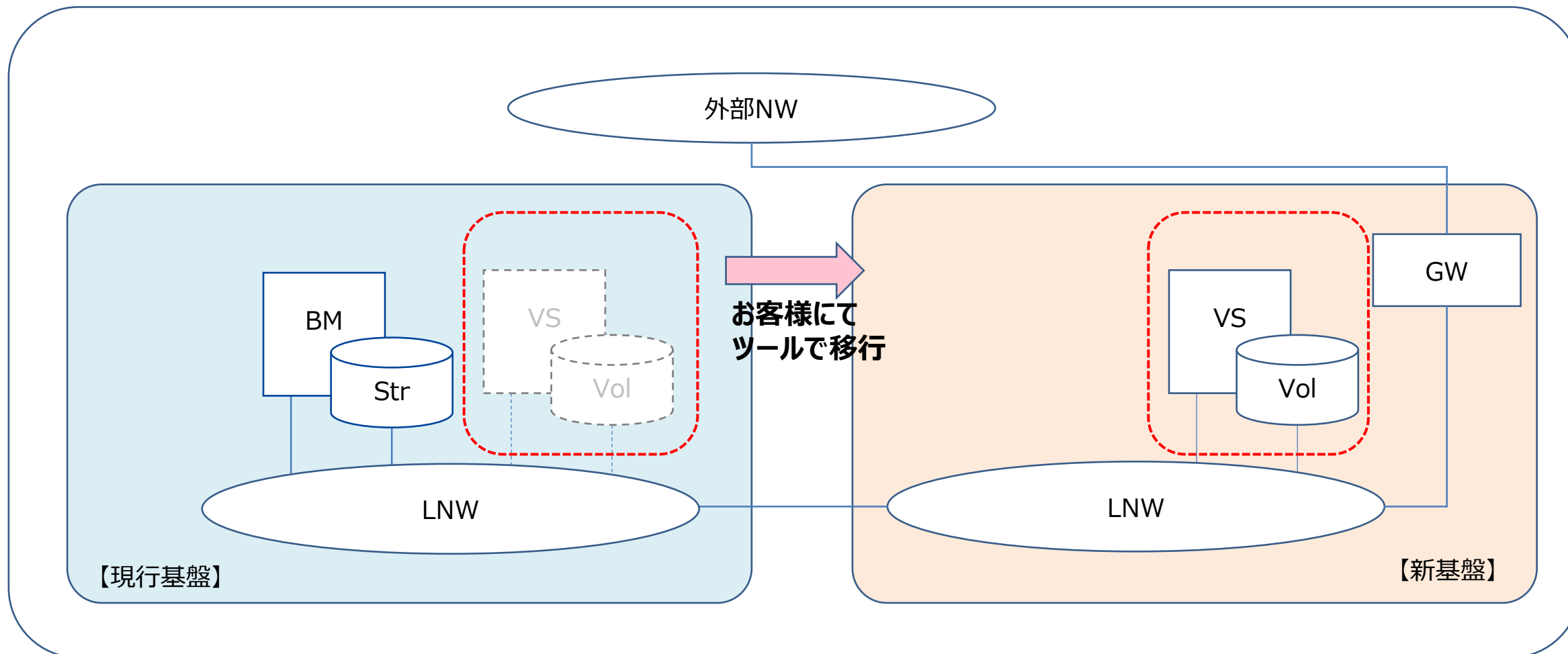
概要

つながる。驚きを。幸せを。

 **docomo Business**

■パターン別移行ステップ（ツールおよび手動移行併用のパターン）

- お客様にて、SDPFポータルから移行ツールを用い、各リソースの移行作業を実施します。

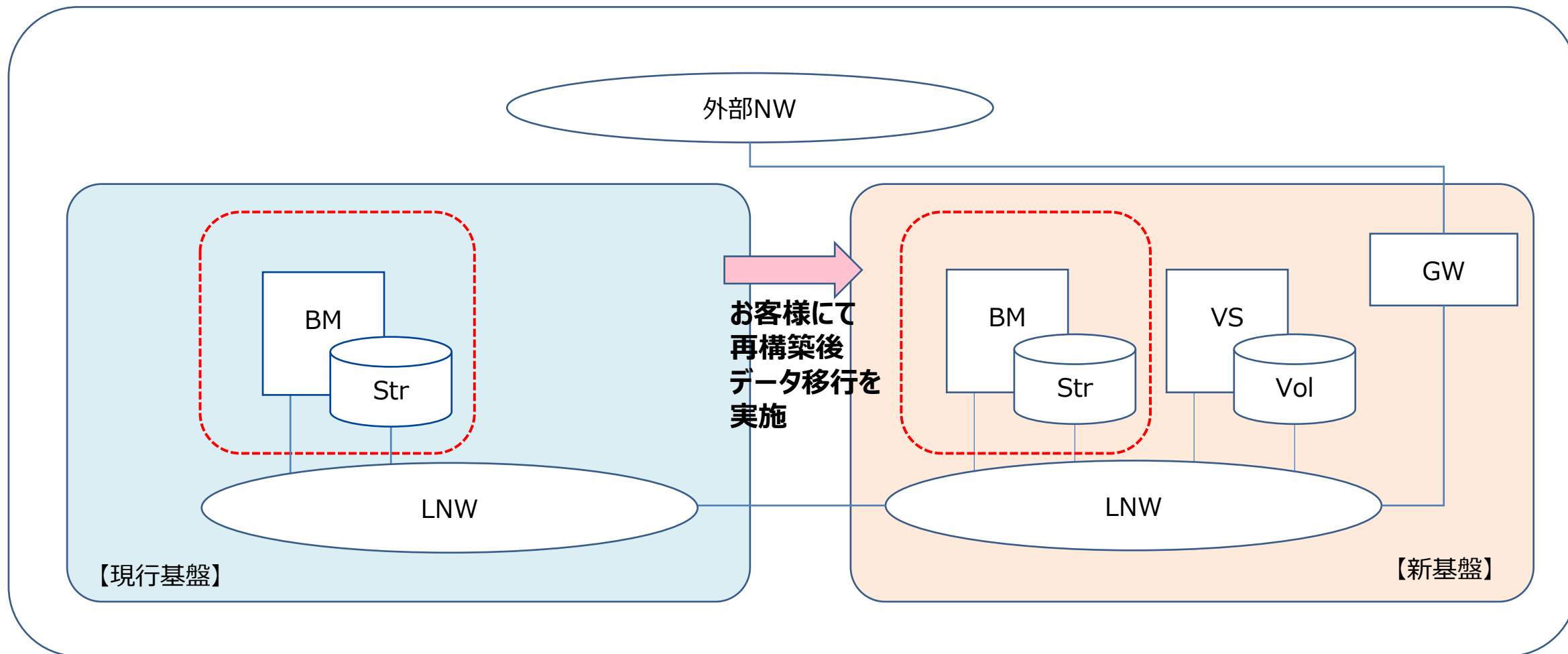


※前ページと本ページの順序については、お客さまの移行作業のタイミングに依るため必ずステップイメージ通り進むわけではございません

概要

■パターン別移行ステップ（ツールおよび手動移行併用のパターン）

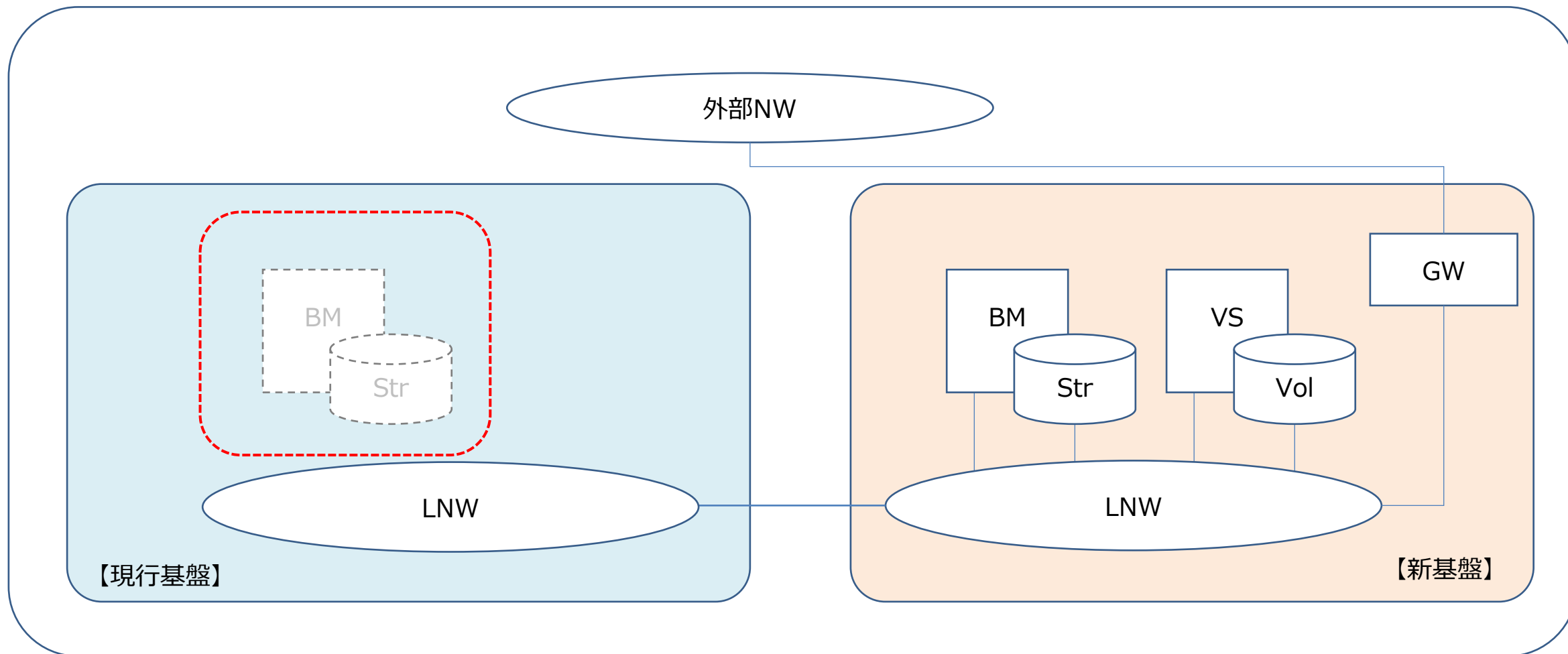
- お客様にて各リソースの再構築、データ移行を実施します。



概要

■パターン別移行ステップ（ツールおよび手動移行併用のパターン）

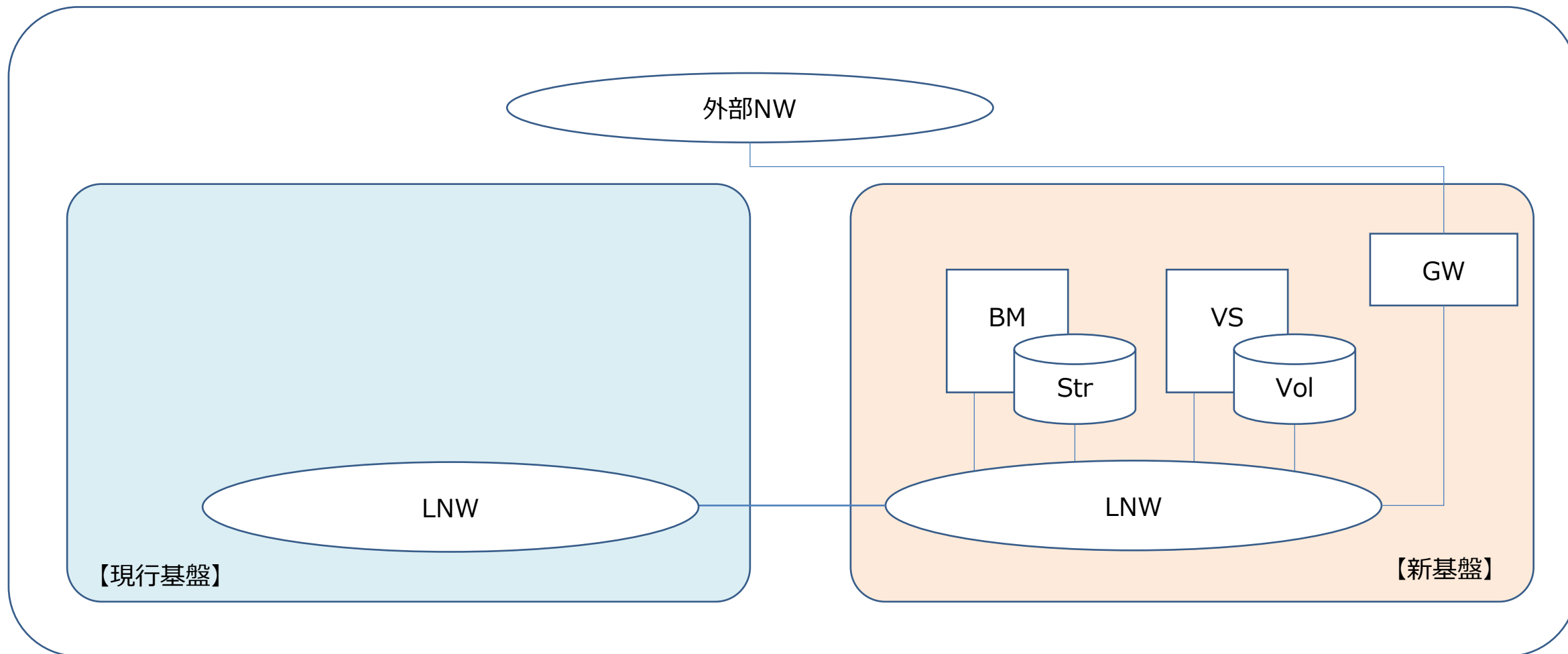
- 移行完了後に現行基盤上のリソースを削除します。



概要

■パターン別移行ステップ（ツールおよび手動移行併用のパターン）

- 移行完了後の構成イメージです。



つながろう。驚きを。幸せを。

